

特集 <博物館の仕事> 学芸員ってどんな仕事をしているの？

鳥取市歴史博物館「やまびこ館」ではみなさんに鳥取の歴史や文化を伝えるために、たくさん職員が様々な仕事をしています。ここでは、学芸員がどんなことをしているか、普段はお見せすることのないバックヤードを紹介いたします。

ルポ 学芸員の仕事にフォーカス！

調査・研究



戦後に占領軍が駐留した邸宅で使われていた下水処理設備の調査 (2021.9撮影)



ある資料借用先前の路地。こんな写真も撮って帰ります(前が駐車禁止でしたが、所蔵者の駐車場になんとトラックを停めることができました)(2018.10撮影)

学芸員は日々、鳥取にとって重要な歴史や人物について調べています。鳥取県内外の鳥取に所縁のある資料をお持ちの所蔵者(博物館や個人のお宅など)を訪ねて直接資料を拝見させていただきます。いろいろなことを調べて行く中で、展覧会のテーマとなりそうなことを考えて、鳥取のみなさんへ調査した成果を公開する準備を進めます。

① 展覧会の開催 (調査成果の公開)

展覧会の開催は博物館の中心となる仕事です。やまびこ館では五年ごとに主要な展覧会を決めて準備をします。鳥取のみなさんに知っていただきたい歴史や人物などを、各学芸員の専門性を活かしつつテーマにして企画を立てていきます。

展覧会の準備調査では、必要に応じて他県にも調査に行きます。資料を閲覧し、併せて借用交渉を行います。調査では資料の内容だけでなく、資料を運ぶために必要なデータ(資料のサイズや状態から、トラックがどこから入って駐車できるかなど)所蔵施設・建物の周辺環境までも記録して帰ります。これらの準備は展覧会によって違いますが、一〜二年くらい前から本格的に進めます。



展示室の設営作業 (2018.9撮影)



県外での美術品輸送専門業者による梱包作業 (2019.10撮影)

③ 展覧会が開幕したら 展覧会が始まったら、閉幕後に始まる様々な仕事があります。

まずは展覧会の開幕をみなさんにお伝えするために、新聞やテレビで紹介する広報活動です。会期中には、みなさんに展覧会に注目していただき、理解を深めてもらうためのイベントや講座を開催します。展覧会の内容に関わるワークショップや、担当学芸員による展示解説、講座、また展覧会のテーマに関わる著名な先生を招いた講演会などを行います。

④ 展覧会の終わりに向けて 展覧会が始まると、すぐに終わった後のことを考え始めます。借りた資料を返却するために、所蔵者と返却の日程調整を行います。

⑤ 資料の収集・管理 (保存) 博物館には様々な資料が入ってきます。学芸員はこれらの資料について調査・研究し、また大量にある資料は整理をして収蔵庫に収めます。

⑥ 子どもの時代を過ごしましたか。子どものころのエピソードを教えてください。

⑦ 子どもたちに一言アドバイスをお願いします。

鳥取市あおや郷土館での奥村寧子学芸員は、いつも楽しんで、子どもころから相撲好きで、令和元年度には、力士塚を調査した成果を紹介する展覧会を開催しました。そんな奥村学芸員にいろいろ聞いてみました。



おくむら やすこ 奥村寧子 鳥取市あおや郷土館学芸員 平成15年より鳥取市歴史博物館に勤務。平成25年より鳥取市あおや郷土館へ異動、現在に至る。

① どうして学芸員になろうと思ったのですか？ 小さいころから歴史が好きで、歴史に携わる仕事をしたいからでした。

② 学芸員になるためにどんな勉強をしましたか？ 大学で日本史を専攻し、学芸員養成課程を履修し、学芸員資格取得の勉強をしました。そして、学内外での実習を通じて学芸員の仕事について学びました。

③ 学芸員としてどんな仕事をしていきますか？ みなさまに楽しんでほしい、新たな発見を得られるような展覧会やイベントを開催できるように、日々調査研究しています。また、展覧会に関する資料を調べたり、お借りして展示したりしています。展覧会の開催をみなさんに知っていただくために、チラシやポスターを作成し配布するほか、ホームページやフェイスブックで紹介したり、テレビやラジオに出演したりして広報活動を行っています。

④ 学芸員として、これからどんなことをしていきたいですか？ 鳥取市の西地域にはまだまだ知られていない歴史や文化があります。調査研究して分かったことを、展覧会やイベントなどを通じてみなさんに発信できたらと思います。

⑤ 一番面白いことは何ですか？ 私は子どもの頃から相撲が好きです。鳥取市にはたくさん力士塚(お相撲さんの石碑)があり、これまで調査してきました。お相撲さん以外にもいろいろな石碑があり、どこにどのような石碑があるのか、女性連で探っているのが調入るのが面白いです。その地域の歴史を知るヒントになるからです。

⑥ どんな子ども時代を過ごしましたか。子どものころのエピソードを教えてください。小学生の時、飛鳥時代以降の藤原氏の家系図を紙にひっつけて部屋に貼っていました。親子関係など人間関係の広がりを見るのが楽しかったです。

⑦ 子どもたちに一言アドバイスをお願いします。博物館や資料館には昔の人が書いたモノや使ったモノなどが、実物(ホンモノ)資料で紹介されています。その迫力を体感してほしいです。昔の人が遺してくれたものは、私たちにいろいろなことを教えてくれます。きこく、何か発見があるはずですよ！

博物館と学校が子どもたちの学びを応援！ 博字連携だより 22号

発行 (公財)鳥取市文化財回 博字連携推進プロジェクト 事務局・問い合わせ先 鳥取市文化財回事務局 鳥取市因幡万葉歴史館



収蔵庫の清掃作業 (2021.7撮影)

地域を学ぶ 地域連携だより

博字連携推進プロジェクトでは、博物館にきてもらって展示を見ていただくだけでなく、学校に出かけて授業を行うこともあります。その「出前授業」の端々をご紹介します。

● 地域の歴史を学ぶ

十月十九日(火)午後、やまびこ館から二人の学芸員が中ノ郷小学校に出向き、授業を行いました。当日は、保護者懇談会と特別時間割となっており、五年生と六年生を対象に、「鳥取城の謎」「吉川経家」について、資料をプロジェクターに映しながら話をしました。児童のみなさんは熱心にノートを取ったり、質問したりしていました。

この企画は、中ノ郷小学校に隣接する中ノ郷公民館が地域の歴史を子どもたちに伝えるために、講師としてやまびこ館に出前授業を依頼して開催したのです。多用な先生方にとって子どもたちを引率し校外に出かけるの

● 授業の展開

感想を「〇〇マス作文に」中ノ郷小学校は、日頃から「〇〇マス作文」に取り組んでいます。普段と違う新鮮な授業を受けた五・六年生は、早速、翌日のホームルームで感想文を書きました。その一部を紹介します。

「昨日、千葉さんのお話を聞いて鳥取城が雷が落ちたことと興味を持ってきました。高いところには雷が落ちてきやすいことから、これまでたくさんのお城に雷が落ちてくへと移りました。鳥取城には擬宝珠橋や大手門など、様々な建物があり、火災で焼失しながらも、江戸時代から明治時代の初めまで、鳥取の中心、シンボルとして存在しました。明治時代に入ると城内の建物は壊され、その跡には学校や動物園などが作られました。現在は市民の憩いの場となっています。」

「あらためて吉川経家のすごさがわかりました。とくに、みんなを守るために切腹をしたのは、ほんとうにすごいと感心しました。私は「G郷」で吉川経家について調べていたけど、ネットのついでに、いことも知ることができたのでよかったです。(六年)

「昨日の授業はすごく勉強になりました。その中で頭に残っているのは、鳥取の人が馬を切って食べる、人を食ったり米の根を食べるところです。とにかく、そのことが頭に残って、全然眠れませんでした。(六年)

「兵糧攻めが一番に聞きたかったんで、しっかり耳で聞いた。とても面白かった。兵糧攻めのことと分かったおかげで歴史のこともっと知りたくなった。(六年)

「鳥取城の歴史を聞いて、お城の役割についても知りたかった。戦国時代にその土地を治める大名や武士が住む戦さの拠点というものが分かった。次は城の中のしかけや見取り図を見たいと思った。(五年)

「和紙の表情を活かした作品づくり」あおや和紙工房から



明治初期に取り壊された二ノ丸三階櫓



市民の憩いの場となっている

「青谷高等学校リビンゲデザイン科に出向き、二年生三グループを対象にあかり作品づくりの授業を行いました。日本海が広がっており、そこで採取されていた流木をあかりの軸に使い、個々に選んだ因

「州和紙を張ったあかりづくりを指導しました。作品制作において自然との調和を考へることや和紙の表情を活かすことを重点に伝えられたと思います。完成した作品は「第十八回因州和紙あかり展」に出展していただき、そのうち一点は入賞となりました。」

「協力/鳥取市立中ノ郷小学校 文責/博字連携プロジェクト

- ★学芸員、スタッフ、ボランティアガイドがご案内します。
- ★学校利用の場合、引率者を含め入館料は無料です。
- ★見学プログラムを希望される場合は、必ず事前に各施設にご連絡下さい。
- ★実施時期によっては、ご希望に沿えないこともありますので予めご了承下さい。
- ★①～⑯以外のテーマについても可能な限り対応させていただきます。各施設にお尋ね下さい。

鳥取市歴史博物館 やまびこ館

① 鳥取のお殿さまと鳥取城、城下町

場所 鳥取市歴史博物館 **時間** 30分～1時間程度

内容 江戸時代を中心に、鳥取藩主とその居城・鳥取城、そして鳥取藩を支えた城下町について解説します。鳥取の中心市街地のあゆみなどについて、常設展示の映像を使って解説するほか、ご指定のテーマがあれば対応します。また、天正9年鳥取城攻め以降の大名・宮部継潤や亀井茲矩など、因幡各地の「お殿さま」についても対応いたします。

② 戦国時代の鳥取 (天正9年鳥取城攻め)

場所 鳥取市歴史博物館 **時間** 30分～1時間程度

内容 天正9(1581)年の鳥取城攻め(羽柴秀吉(織田方)と吉川経家(毛利方)による鳥取城で戦い)の他、江戸時代以前の因幡(鳥取県東部地域)の歴史についてご案内します。アニメーション「鳥取城をめぐる世界」をご覧いただける他、それ以外の内容や時代(亀井茲矩、山名氏などの人物について、平安時代～戦国時代の地域の歴史)など、可能な限りご要望に応じて対応いたします。

③ 昔のくらしと道具

場所 鳥取市歴史博物館 **時間** 30分～1時間

内容 江戸時代から近代、そして現代にいたる昔の生活についてご案内します。江戸時代の生活については江戸時代終わり頃の千代川流域の農村を描いたアニメーション「太郎一家の農村生活」をご覧いただけます。それ以降の時代についてはご要望に応じて昔の生活資料を使ったプログラムを、ご相談に応じて対応いたします。

④ 鳥取と災害

場所 鳥取市歴史博物館 **時間** 30分～1時間

内容 鳥取で起こった災害、地震、火事について、鳥取大地震(1943)、鳥取大火(1952)を中心にご案内します。被害状況を写した古写真や映像などをご覧いただき、災害から見た、江戸時代～現代までの鳥取のあゆみについてもご案内いたします。



鳥取大地震後の智頭街道

⑤ 榑谿公園と鳥取東照宮

場所 鳥取市歴史博物館・榑谿公園・鳥取東照宮(現地解説)

時間 45分～(45分以下の場合、東照宮・公園のどちらかになります)

内容 やまびこ館に隣接する榑谿公園と鳥取東照宮をご案内します。榑谿公園には袋川で使われていた屋形船や、鳥取市の梅の標準木があります。また歴史的には、榑谿公園は寺院や神社の境内地だった時代もあります。現地を歩きながらご案内します。

⑥ クイズ・オリエンテーリング(解説付き)

場所 鳥取市歴史博物館(自由見学+解説)

時間 45分～1時間(例:30分自由見学、15分解説)

内容 児童のみなさんには、やまびこ館の常設展示室(特別展示室)に関するクイズに答えながら、展示を自由に見学してもらいます。見学終了後、問題の答えあわせをしながら、解説していきます。



鳥取市文化財団各施設に おまかせ!

見学プログラム



⑦ 鳥取が経験した戦争

場所 鳥取市歴史博物館 **時間** 30分～1時間

内容 鳥取県東部は大規模な空襲被害はありませんでしたが、市民及び県民は戦争の犠牲となり、食料や物資も不足するなど制限された生活を過ごしました。また、鳥取県東部には鳥取市岩倉周辺に「歩兵第四十連隊」などの歩兵連隊があり、鳥取の誇る観光地「鳥取砂丘」はその兵士たちが訓練を行なった場所でした。そして、兵士たちは戦地に出征、過酷な戦場で多くの尊い命が犠牲となりました。これら戦時中の鳥取及び軍隊と戦争について、当時の写真や記録資料をもとに紹介していきます。

⑧ 常設展示を使って社会科の授業をより豊かに理解しよう!

場所 鳥取市歴史博物館 **時間** 30分～1時間

内容 令和3年度にリニューアルした常設展示を使って鳥取の通史を学ぶことができます。ご来館日までに学習された内容や、近日中に授業で学習する内容などに合わせて重点的に実物資料を見ながら、教科書の内容について、鳥取の歴史とオーバーラップさせながら解説をします。

※主に日本史を学ぶ6年生を対象にしていますが、それ以外の学年でも総合学習や地域学習の授業との関連としてもご活用ください。詳しくは事前にご連絡ください。

⑨ 江戸時代の鳥取と京都のつながりを知ろう!

場所 鳥取市歴史博物館 **時間** 30分～1時間

内容 江戸時代の京都は、人口30万人ほどで、江戸や大阪に次ぐ大都市として発展しました。京都は文化や学問、商工業の中心地であり、全国各地から様々な目的で人びとがやってきました。その中には、鳥取の人びとも多くおり、藩の政治やお殿様の生活などを担当する役人、商業や学問、芸術などを志す人びとが京都を目指しました。この展示会では、こうした京都と鳥取のつながりについて紹介していきます。実際に展示室を見学する展示解説はもちろん、展示内容に基づいたミニ授業などにも対応可能です。

鳥取市因幡万葉歴史館

⑩ 因幡国府の歴史・文化をさぐる

場所 鳥取市因幡万葉歴史館 **時間** 1時間程度

内容 因幡国府で花ひらいた古代の文化や貴重な遺跡、麒麟獅子舞や因幡の牽踊りなど民俗文化の解説をします。



因幡の古代展示室



麒麟獅子頭展示ケース

⑪ 万葉と神話の庭で万葉集を見つけよう!

場所 鳥取市因幡万葉歴史館(万葉と神話の庭) **時間** 30分～1時間

内容 万葉集ってなんだろう?むかしの人はどうやって歌を詠んだの?そんな素朴な疑問の答えを、万葉集に歌われた植物の庭園で歌探しをしながら見つけます。和歌とともに、古代の人の木々や花々への思いを体感できます。



万葉と神話の庭

仁風閣

⑫ 明治の洋館と鳥取の近代化

場所 仁風閣～宝隆院庭園 **時間** 30分～1時間

内容 国重要文化財に指定された明治の洋風建築・仁風閣と、江戸時代の大名庭園の名残を留める宝隆院庭園の見どころを解説します。仁風閣は、電灯や電話が鳥取県で最初に設置されるなど、当時の高度な技術が随所に見られる鳥取の近代化の象徴的な建物です。



国指定重要文化財 仁風閣

⑬ 明治の洋館と鳥取藩主池田家一族の歴史

場所 仁風閣～史跡鳥取藩主池田家墓所 **時間** 1時間～3時間

内容 仁風閣は、明治40年、皇太子(後の大正天皇)が鳥取を訪れたときに、旧藩主池田家が宿泊所として提供したものです。そのなりたちをひもとき、藩主池田家一族の歴史をふりかえります。

※歴代藩主の眠る池田家墓所の見学も可能です。

高砂屋

⑭ 明治時代の商家の建物

場所 城下町とっとり交流館 高砂屋 **時間** 30分～1時間

内容 明治時代の商家の建物と蔵を見学して、建物のつくりと当時の鳥取の城下町の様子について学ぶことができます。



企画展示に使われる西蔵

鳥取市青谷上寺地遺跡展示館

⑮ 体験、体感、弥生人!

場所 鳥取市青谷上寺地遺跡展示館 **時間** 見学30分～・体験30分～

内容 青谷上寺地遺跡から出土した貴重な品々を見学して、弥生時代について学びます。ものづくり体験も可能です。

※体験参加人数によっては、受け入れ時期、体験場所の調整が必要になります。お早目にご相談下さい。

※土笛づくり・ミニ土器づくりは乾燥に数日かかります。



ミニ土器・麻ひもコースター



展示室「青谷上寺地の衣・食・住」

- 鑄造体験(鏡・お金) 800円
- 土笛づくり 300円
- ミニ土器づくり 300円
- 麻ひもコースターづくり 300円
- かごづくり 300円
- 組紐づくり 100円
- 滑石勾玉づくり 400円

バス利用を支援します

～博物館★MUSEUMをめぐる事業～

財団施設までの移動手段として、バスを借り上げて学校に貸し出します。



- ①バス貸借費用を1校につき上限50,000円、2台以上のおよび2校以上合同の場合は、上限100,000円まで補助します。上限を超過した経費については各校で負担していただきます。
- ②利用に際しては、財団施設の見学プログラムのうちから2つ指定して下さい。
- ③同日に財団施設以外の社会見学を行う際は、各校でスケジュール調整して下さい。

【利用の流れ】

- ①鳥取市因幡万葉歴史館・博学担当(0857-26-1780)にご希望のプログラムと日時をお知らせ下さい。
- ②行程が決まりましたら、所定の書式に記入してFAX(0857-26-1781)して下さい。(3週間前までに)
- ③鳥取市文化財団がバスを手配してお知らせします。規定額を超えた場合は請求させていただきます。

鳥取市あおや和紙工房

⑯ 和紙の里でつくる、世界にひとつだけの和紙

場所 鳥取市あおや和紙工房 **時間** 1時間～1時間30分

内容 伝統工芸品である因州和紙について技術、歴史などを学ぶことができます。さらに、自分でデザインした手すき和紙づくりを体験することもできます。

※一度に制作体験できる人数は40名程度です。それ以上の人数であれば交代で制作することがあるため、青谷町内の他の施設見学と合わせて利用することをお勧めします。



紙すき体験

- A3 1枚 500円(20名以上400円)
- A4 1枚 400円(20名以上320円)
- ハガキ1枚 300円(20名以上240円)
- A3 スタンドランプづくり...2,000円(20名以上1,900円)
- A4 ミニランプ(3色) 800円(20名以上720円)
- A4 1,000円(20名以上920円)



体験によるオリジナル和紙

鳥取市あおや郷土館

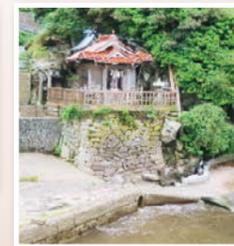
⑰ 山陰海岸ジオパーク 鳴り砂の浜と夏泊

場所 鳥取市あおや郷土館 青谷海岸・夏泊神社・夏泊 **時間** 1時間～2時間(移動時間を含む)

内容 鳥取市あおや郷土館で鳴り砂のしくみや、夏泊の海女漁について学びます。その後、現地にでかけます。天候がよければ青谷海岸を歩いて鳴り砂の音を聞いてみましょう。夏泊神社では青谷出身の江戸時代の石工・川六(かわろく)が作った狛犬や鳥居を見学できます。また近くには獅子岩などの奇岩も見ることができます。青谷のさまざまな自然や歴史にふれてみませんか。



「鳴り砂コーナー」見学風景



夏泊神社